

実施報告書-1

令和 5年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名 渋谷区

学校名 渋谷区立千駄谷小学校

1 事業目的

協議会名

渋谷区立千駄谷小学校千駄谷芝生維持管理推進委員会(シバッカリーズ)

○校庭の芝生を活用した学校と地域の連携事業を通じて、子供の健全育成や地域の教育力の向上を目指す。
○学校と地域が連携・協働した芝生の維持・管理及び活用等の仕組づくりを推進することを通して、子供の心身の成長・発達や地域の教育力向上を目指す。

2 主な取組と成果

○5月中旬から1月初旬にかけて、合計74回の芝刈りと、その関連作業を実施しました。子供たちが、自分が使う芝生の状況を、自分で観察し、対応できるようにすることが、シバッカリーズの目的であり、回数を重ねるにつれ、大人の手伝いではなく、自分たちが仕事を考え、自主的に作業ができるようになってきました。○こうした子供を中心とした活動をしているため、彼らのやる気と熱意に満ちた行動が、保護者やお爺さんお婆さんの世代を動かします。その方々が参加する時には、率先して模範になる行動をしてくださるので、とても良い雰囲気ができあがっています。
○シバッカリーズの全活動は、適宜ホームページにアップしており、みな様に知識が増え、どう芝に接せうべきなのかを良く考えています。また新たに参加する人も、今までの経緯をしっかりと理解して参加する人がほとんどであり、無駄な説明をする必要がなく、簡単な説明で、すぐチームに溶け込みます。参加者のエントリーや、次の世代に受け継ぐことも考えると、ホームページなしには、活動は成立しないと言っても良いです。

3 取組内容

○通常の芝刈り作業:74回 平均して5~8人ほど

○かやのきフェス 芝生のワンダーピクニック

老若男女関係なく、率先して作業します。

9/10月は、全校・全参加者による芝生はだし月間を実施



○禿げてしまった芝の再生に向け、夏休みに補植を実施 7/23 大人29人+子供23人=52人参加



※上記写真は、全てホームページに記載されています(掲載承諾済み) <https://www.shibaccurrys.com/>

4 今後について

○芝生の恩恵から、自然の恩恵へと視線を広げる:子供たちは、自分たちの校庭を、単なる芝生の校庭ではなく、自分たちだけの唯一無二の校庭として、愛しむ気持ちが芽生えてきています。これをきっかけに、学校にある多くの自然の恵みを、楽しみながら活用できる取り組みを行いたいと思っています。具体的には、年間を通して活用されていない圃場を使って、様々な作物や花を植え、実際に食べたり、リースを作って楽しんだり、果樹を利用して梅シロップを作ったり、ジャムを作ります。これらを販売すれば、とても良い社会勉強にもなり、また保護者や地域の人々へも訴求できる、胸を張って誇れる品物が、安価で作れることが学べます。とかく単調な芝生の作業の合間に、学校がより魅力的な場所になるような、そんな取り組みを行えば、不ずと地域の輪に広がっていくように思います。幅広く訴求する意味で、しっかりホームページを活用していきたいと思っています。